

これからはワーク・ライフ・バランス

能力を活かして働きたいという女性にとって、大きな悩みになるのが「仕事と家庭の両立」です。未だに家事、育児、介護は女性の役割という考え方があり、働く女性は現実には両方をこなさなければならないことが多く、大きな負担になっています。

仕事をする女性の数を年齢層別に見ると、20代の数値が、「子育て世代」の30代で減少し、子どもの手が離れる40代以降になるとまた増加しています。

この数値を折れ線グラフにすると、Mの字を描いていることから、「M字カーブ」と呼ばれ、子どもが生まれれば仕事をいったん辞めざるをえなくなる女性が多いことを示しています。

問題は、経験を積んで活躍し始める時期の女性従業員が、仕事から一時離れてしまうことによりキャリアが一時中断し、再就職時には収入・待遇の面で以前より悪い条件でも甘んじて受け入れられなくなってしまうことです。これは、大きな戦力を手放さなければならない企業にとっての損失でもあります。

そこで、近年推進されているのが「ワーク・ライフ・バランス」という考え方です。これは女性だけを対象としたものではありませんが、男女共に仕事にかかる時間と家庭などにかかる時間のバランスを改善していくことは、働く女性の家事・育児の負担を軽減することにつながります。またこれにより、女性の社会進出を助けると同時に、男性にとっても長時間労働にしばられなくなるメリットがあります。

「育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）」は、男女共に働き続けながら、育児や介護ができる環境づくりを目指しています。

青少年育成講演会

「おもしろサイエンスショー」開催のお知らせ

「青少年は地域社会から育む」という観点に立って、家庭・学校・地域が一体となり、青少年健全育成を図る取り組みの一環として、「おもしろサイエンスショー」を開催します。

- 日時 10月31日(土)
午後2時15分開演
(午後1時45分開場)
- 場所 立科小学校 体育館
- 演題 「あっと驚く実験の数々！
科学ってホントおもしろい！」
- 講師 市岡元気 氏
(米村でんじろうサイエンス
プロダクション所属)
- 持ち物 上履き



主催 青少年問題協議会・立科小学校

お問合せ先 教育委員会 社会教育人権政策係 電話 56-2311 有線 2311